

# ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2019年度第2四半期決算説明資料

2019年10月31日

## 第2四半期実績 及び前回予想比較

米中貿易摩擦の影響や欧州航路での需給バランス悪化により運賃と積高は悪化も、費用削減の進展や燃料油価格下落により前回予想並の黒字を計上。

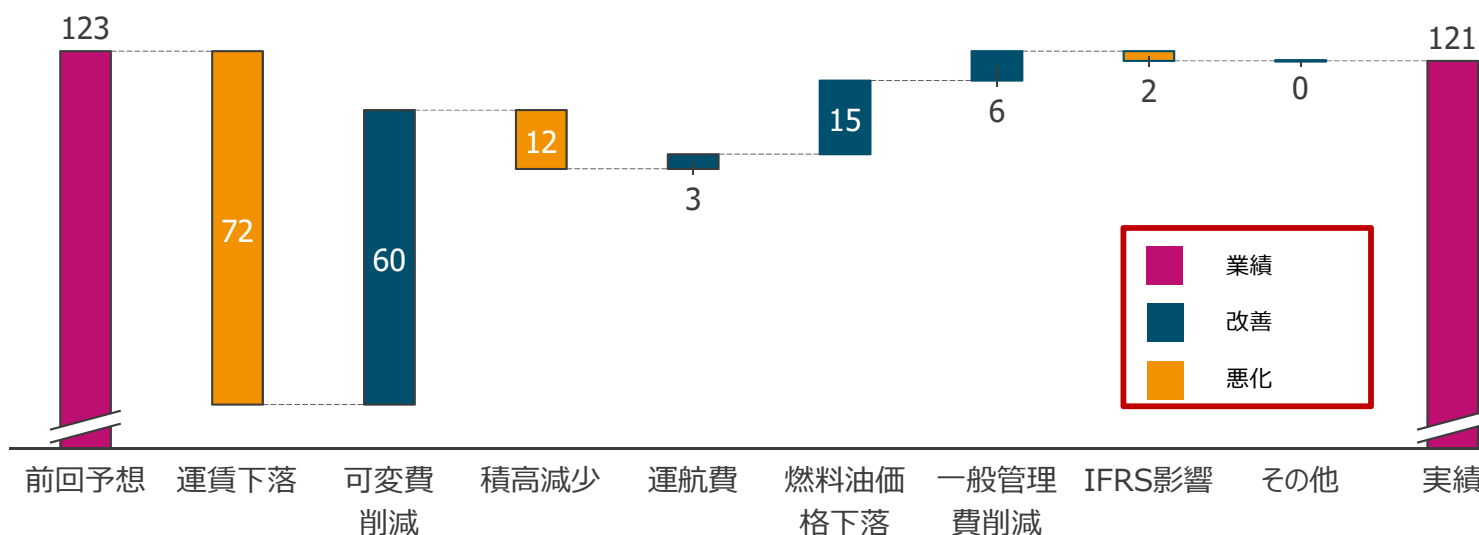
(単位：百万US\$)

\*2019年 7月時点

	2019年度 前回予想*			2019年度			2Q 対前回予想*	
	1Q 実績	2Q 予想	上期 予想	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	増減 (百万US\$)	増減 (%)
売上高	2,875	3,214	6,089	2,875	3,109	5,984	-105	-3.3%
税引き後損益	5	123	128	5	121	126	-2	-1.9%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$432	\$432	\$432	\$432	\$419	\$427	-\$13	

## 第2四半期実績 対前回予想比較

(単位：百万US\$)



- 運賃：北米航路では想定に届かず。欧州航路短期市況は低迷。
- 可変費：貨物ポートフォリオ最適化やコスト削減活動が進展。
- 積高：アジア域内、北米航路で想定に届かず。
- 運航費：略想定並。
- 一般管理費：IT費用が減少。
- IFRS影響、その他：略想定並。

## 第2四半期実績 及び前年同期比較

サービス安定化により、積高は全ての航路で増加。可変費、運航費、一般管理費等の削減も進展した結果、313百万US\$の改善となる121百万US\$の黒字を計上。運賃市況は北米航路では対前年で改善したが、欧州航路では需給バランスの悪化により昨年のような夏場の上昇が見られなかった。

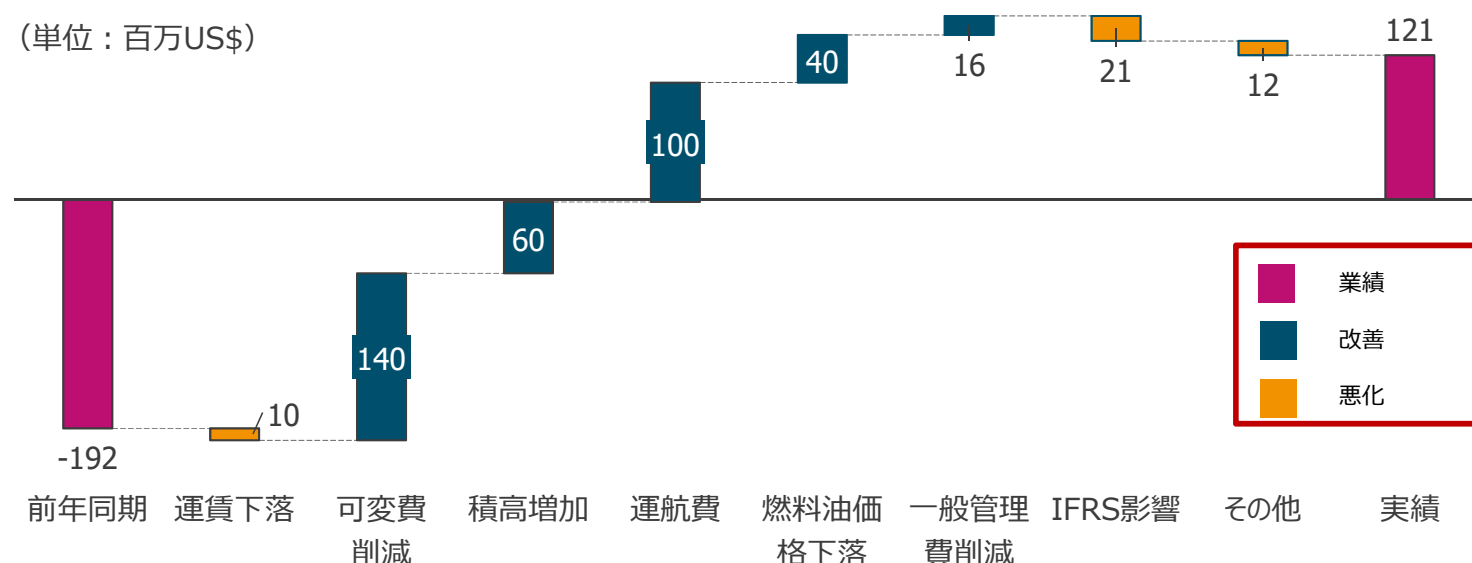
(単位：百万US\$)

	2018年度			2019年度			2Q 対前年同期	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	増減 (百万US\$)	増減 (%)
売上高	2,066	2,963	5,030	2,875	3,109	5,984	146	4.9%
税引き後損益	-120	-192	-311	5	121	126	313	-

	2018年度	2019年度	2Q 対前年同期
燃料油価格 (US\$/MT)	\$407	\$457	\$434
	\$432	\$419	\$427
			-\$38

## 第2四半期実績 対前年同期差異分析

(単位：百万US\$)



- ❑ 運賃：北米、大西洋、アジア域内航路で回復したものの、欧州は対前年比悪化。
- ❑ 可変費：貨物ポートフォリオ最適化やコスト削減活動が進展。
- ❑ 積高：サービス安定に伴い改善。
- ❑ 運航費：プロダクト最適化及び燃料油節減活動により削減。
- ❑ 一般管理費：IT費用、アウトソーシングフィー等が減少。
- ❑ IFRS影響：リース会計基準適用開始による影響
- ❑ その他：為替影響や運賃収入増加によるFreight Tax増加影響。

(単位：千TEU)

航路別積高・消席率		2018年度							2019年度		
		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績
北米往航	積高	530	761	746	627	1,291	1,374	2,664	669	773	1,442
	消席率	73%	90%	95%	88%	82%	92%	87%	86%	94%	90%
欧州往航	積高	312	478	442	455	790	897	1,687	460	488	947
	消席率	73%	90%	92%	92%	82%	92%	88%	87%	95%	91%
北米復航	積高	218	285	320	318	502	639	1,141	350	310	660
	消席率	33%	33%	40%	43%	33%	41%	37%	47%	37%	42%
欧州復航	積高	194	263	315	320	457	634	1,091	323	328	651
	消席率	48%	47%	62%	63%	48%	62%	55%	64%	64%	64%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2018年度							2019年度		
		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績
北米往航		100	101	108	105	101	107	104	103	105	104
欧州往航		100	106	100	107	104	104	104	100	101	100

## □ 通期業績 及び前回予想比較

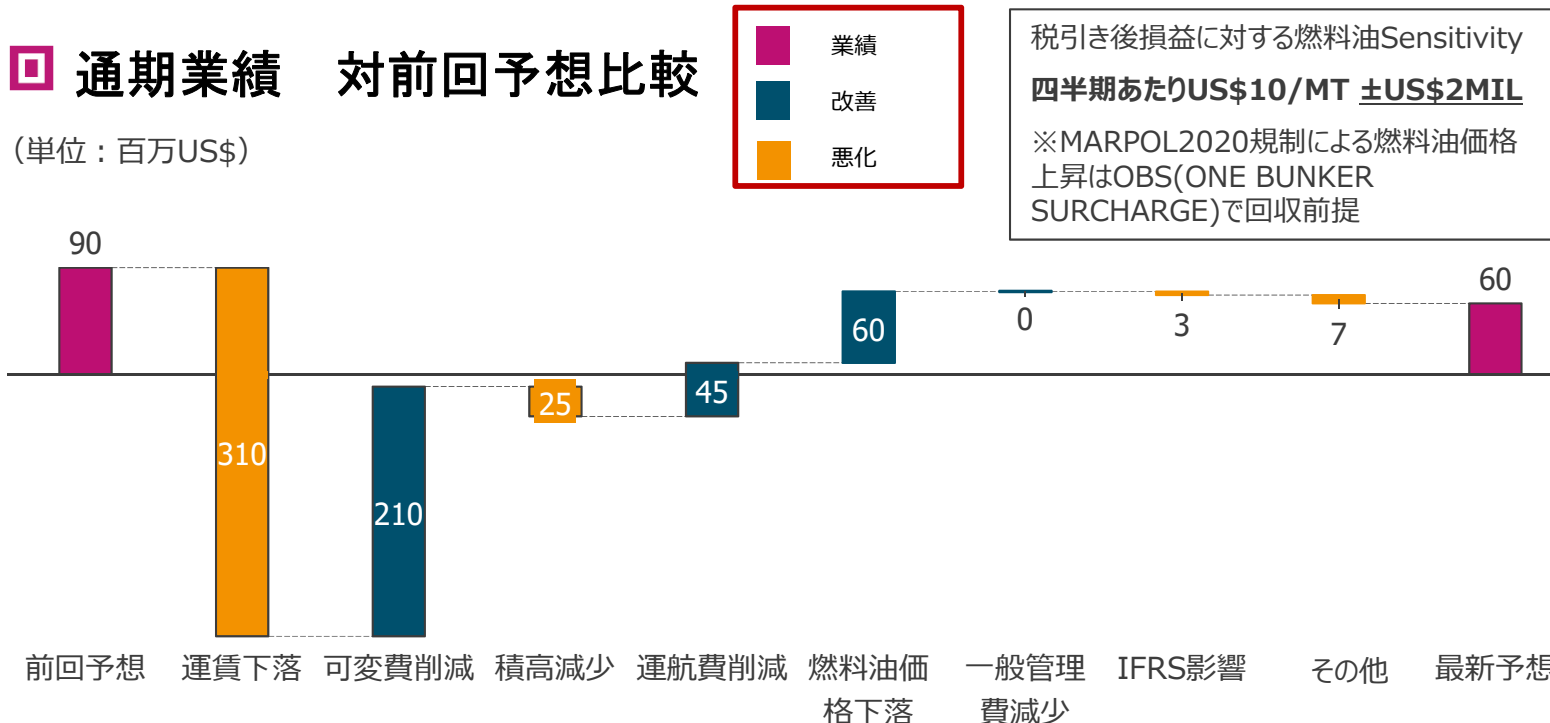
世界的な景気減速懸念を受けて、短期運賃市況の前提を見直し。また冬季の需要減に備えて、主に北米・欧州航路で冬季減便プランを策定、実行。上期の貨物ポートフォリオ最適化やコスト削減への取り組みを継続し、競争力の改善を目指す。

(単位：百万US\$)

	2019年度前回予想					2019年度					通期	
	1Q 実績	2Q 予想	上期 予想	下期 予想	通期 予想	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想	増減	増減 (%)
売上高	2,875	3,214	6,089	6,306	12,395	2,875	3,109	5,984	6,125	12,109	-286	-2.3%
税引き後損益	5	123	128	-38	90	5	121	126	-66	60	-30	-33.2%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$432	\$432	\$432	\$533	\$483	\$432	\$419	\$427	\$508	\$469	-\$14	

## □ 通期業績 対前回予想比較

(単位：百万US\$)



税引き後損益に対する燃料油Sensitivity  
**四半期あたりUS\$10/MT ±US\$2MIL**  
 ※MARPOL2020規制による燃料油価格上昇はOBS(ONE BUNKER SURCHARGE)で回収前提

- 運賃：短期市況悪化を反映。
- 可変費：進行中の競争力強化策を織り込み。
- 積高：中東-アフリカ、インド-欧州の2サービスを開設により増加するも、北米、アジア航路の荷況鈍化を反映。
- 運航費：アジア-北米、アジア-欧州航路での冬季減便プラン実施を反映。
- 燃料油価格：MARPOL2020規制対応開始。価格想定を最新の市況を反映し見直し。

### 2019年度 取り組み進捗

貨物ポートフォリオ最適化・  
イールドマネージメント強化

貨物ポートフォリオ最適化に伴う収益改善は期首想定通り順調に進捗中。US\$190Mil/年間の改善を目標として、引き続きオペレーション効率の向上、業務プロセスの合理化、コスト管理の徹底を進め、競争力を更に強化していく。

プロダクト（航路・投入船）  
最適化

期首想定2019年度プロダクト最適化効果（改善額：US\$195Mil/年間）、燃料油節減活動による改善策（同：US\$65Mil/年間）は順調に進捗中。下期には中東・インド-アフリカ航路、東インド-欧州航路を開設し新興市場での成長を目指す。THE ALLIANCEでは、需要の変化に対応した柔軟な冬季プランを策定すると共に、新メンバーの現代商船も交え、来期以降更に競争力を強化していく。

組織の最適化

US\$50Mil/年間の一般管理費削減計画は想定通りに進行中。

シナジー効果の現出

US\$1,050Mil/年間のシナジー効果目標について、統合1年目となる2018年度には82%現出。2年目の2019年度に96%達成、3年目の2020年度に100%達成とする目標に変更なし。

MARPOL2020対応

規制適合油の調達略完了し、3Qから順次適合油の補油が開始される。OBS等BUNKER SURCHARGEにより追加コストの回収を進める。環境問題に対する顧客の意識は高まっており、規制対応について顧客の理解は得られている。スクラバー設置は一部大型船への搭載準備を進めており、今後も業界の動向を注視しつつ、適合油調達とスクラバー設置の最適な組み合わせを検討していく。

海外ターミナル事業の移管

親会社からの海外ターミナル事業の移管は2019年度中の実行を目指す。

船隊構成

Size			1)2019年6月末	2)2019年9月末	2)-1)
	>= 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	120,600	120,600	0
	隻数	6	6	0	
10,500 - 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	349,220	363,220	14,000	
	隻数	25	26	1	
9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU)	100,100	100,100	0	
	隻数	10	10	0	
7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU)	365,941	374,655	8,714	
	隻数	41	42	1	
6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU)	234,404	233,752	▲ 652	
	隻数	36	36	0	
5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU)	89,998	89,998	0	
	隻数	16	16	0	
4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU)	133,204	123,597	▲ 9,607	
	隻数	27	25	▲ 2	
4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU)	67,384	71,816	4,432	
	隻数	15	16	1	
3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU)	25,472	34,003	8,531	
	隻数	6	8	2	
2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU)	50,216	52,916	2,700	
	隻数	19	20	1	
1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU)	13,261	12,082	▲ 1,179	
	隻数	8	7	▲ 1	
1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU)	7,471	9,644	2,173	
	隻数	7	9	2	
< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU)	1,402	698	▲ 704	
	隻数	2	1	▲ 1	
<b>合計</b>	<b>キャパシティ(TEU)</b>	<b>1,558,673</b>	<b>1,587,081</b>	<b>28,408</b>	
	<b>隻数</b>	<b>218</b>	<b>222</b>	<b>4</b>	

航路構成

(2019年2Q 往復スペースの構成)

